

令和4年度 第11回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和5年3月30日（木）午前10時～正午

■場 所：北庁舎3階 第1会議室

■出 席：(敬称略)

(委員) (10名) 室 英治、塚原 仁、山田 義夫、増山 弘子、表 伸一郎、小西 信生、成瀬 こずえ、石川 伊智郎、吉武 考三郎、森嶋 正行

(事務局) (2名) 田口 敦、塚原 二郎

■欠 席：(敬称略)

(事務局) (1名) 谷口 謙太

■議 事

1 報告

① 令和4年度 第11回検討調整会議事録・・・了承

② 第52回府中市民桜まつり

⇒当日は雨天となったが、大会自体は中止となっていない。実行委員会による実施予定の屋外イベントが中止となった。参加する団体ごとに実施か中止を判断することとなっていたため、活動センターは実施内容が雨天では難しいこともあり、2日間ともに中止とした。当日は、実施している団体がいくつかあったが訪れる人は大変少ない状況であった。

・雨は残念であるが、桜の開花時期に近い3月終わりの開催になったのは良かったのではないかと。

③ 各部会の報告

〈環境学習部会〉 令和5年度の講座・イベントについて検討した。かんきょう塾1回目は、東京農工大学朝岡先生に環境学習について、いろいろと啓もうしてもらおうようにした。2回目は近いのに行ったことがない神代植物公園の植物多様性センターへ行くこととした。3回目は何か環境調査をやってみようということで、多摩川の河川敷で植物調査のきっかけを東京農工大学の藤井先生に話と指導してもらおうことにした。4回目は、以前にコロナで中止となった埼玉県の本郷公園の自然観察センターに行くことにした。5回目は、東京農工大学で学生もしくは先生に大学で話をしてみたいと考えている。今度、朝岡先生と相談する予定である。6回目は毎年好評な JICA 元隊員の話で、これも調整していただいているが、コロナ前に戻ってこられた方になるかもしれない。7回目はボランティア活動について、プラッツの林丈雄氏に話をさせていただく。

親子かんきょう塾は、森キッズクラフトを武蔵台緑地で開催したい。夏休みのバスを使った見学は日の出の処分場の見学と小河内ダムか都民の森

を組み合わせたものを検討している。10～11月は浅間山で森キッズクラブ、11月末頃はエコクッキング農業体験と組み合わせたものにした。また、一昨年から始まった森キッズドリは続けていきたい。かんきょう塾の第1回は4月21日広報に掲載される。是非、多くの方に参加してほしいと思っている。

・昨年のエコクッキングの参加者が少なかったがなぜか。

⇒コロナの影響により食べ物を扱うものが控えられたことや、会場も狭いためイベントの参加人数が制限されていたことなどが影響している。

〈水と緑のネットワーク部会〉 休止中

〈広報部会〉 活動センターだより45号を校正中。4月25日に発行予定である。また、これまでのものは、決まった記事内容なので、もっと環境活動をしている一般の市民などを取り上げた記事を書きたい。それには、広報部会だけではニュースソースが限られてしまうので、委員の皆さんからも情報をいただきたい。また、紙面の内容もリニューアルが必要と考えており、検討していきたい。

④ その他

⇒第3次環境基本計画がここで策定したので、概要の説明。全体としては上位計画としてある第7次府中市総合計画に基づき第3次環境基本計画が策定されたが、大きくはこれまで、環境基本計画、地球温暖化、生物多様性の3つの計画を1つにまとめた。「地域から地球へ みんなで創る 持続可能なまち 府中」を市が目指す環境像としている。5つの方針を示しそれぞれの指針、目標、取り組みなどを定めている。脱炭素型のまち(ゼロカーボン)、人と自然が調和して豊かな恵みを得られるまち(生物多様性)、循環型のまち(循環社会)、安全・安心・快適に暮らせる文化的なまち(公害問題)、協働・連携のための環境が整ったまち(活動センターが市民などと一緒に取り組む)があげられている。さらに3つの重点プロジェクトがあり、活動センターに関連したものとして武蔵台緑地における生物多様性保全プロジェクトがある。これら第3次環境基本計画の本書は市のホームページからみられる。

・学校に配布しないのか。校長会で説明しながら配ってほしい。

⇒子ども用の概要版を作っている。タブレットでも使えるようにしたい。

・本委員会から5名が審議会に出ている。国、都、市の内容に合わせるような見直しをしている。活動センターの役割が少なくなっているが、市民、市、事業者の3者を中心としたネットワーク作りについては残っている。本文は、文字だけでなく絵や写真などが増え見やすくなっており、その点は良くなったと思う。これからはじまるものであり、他の団体等との連携が不可欠で、横断的に進める必要がある。

・この計画の進捗状況を検討する場として審議会があるが、方針5については当委員会も進捗について確認が必要でないか。審議会へ進捗状況について報告していきたい。

⇒令和5年度を迎えるにあたり、田中課長が異動となり、新しく柳下次長が課長兼務で着任する人事異動となった。このほか、活動センターの関係では田口副主幹が環境改善係の係長職が解かれ、谷口主任が環境改善係の係長に昇格し、さらに町田主任がゼロカーボンシティ推進の担当と活動センターの担当を兼務することとなった。

2. 議事

① 環境保全活動センター ホームページリニューアルについて

⇒これまで検討した内容をどのように業者へ見せるか、DX担当と話している。DX担当では、市の既存ホームページとは別の新たなホームページを作るように進めている。これは、利用者が使いやすく、わかりやすいものとなるので、このようなホームページに変更してみてもどうかと話している。今後、入札業者の選定が固まってくると、もう少し具体的な話ができると考えている。本日は、報告できるようなものがない。

・次回はどのようなものができるか提案してもらえるのか。

⇒このあたりの話はどのようになるのかわからない。

・スケジュールが出せるのではないか。また、画面のレイアウトのようなものが見られないか。

・一般的には、製作者などがヒアリングを行い何がしたいのかどのようにしたいのかをくみ取ってから提案される。

・一般的な仕様書はザックリである。しかし、設定がしっかりしていないと後から直すことが大変である。

・ホームページのリニューアルについてわかる人、もしくはDX担当者にも同席してほしい。

・現在、公開されているホームページを見ると、写真がどんどん入れ替わったり、動画であったり、動きのあるものが多く、このようなものが目に留まる。

・動画を作るのは予算がかかり大変である。ほかのものに予算を回せない。写真のスライドショーのようなものであれば、作りやすいのでは。

・まずは、ヒアリングがあるべきでそのうえで仕様書となるのでは。

・検討調整会の意見をすくってほしいので、2回くらいそのような場を設けられないか。

・議事録だけ見てもすごいホームページになる。予算不足にならない

か。

- ・業者には必要なことを箇条書きで優先順位をつけ、さらに、内容には数量を入れないとわからない。
- ・チャットルームに入るためのアクセス権を毎日作る必要があり、誰がチェックをするのか。
- ・悪意のある人が入ってくると影響が大きいので、監視する人が必要。
- ・更新は誰が行うのか。月2～3回の更新が必要ではないか。
- ・副主幹に出席してもらい話しをしたい。また、ホームページがどのようなものになるのかと、詳しい方の話を聞かないと進まない。

② 令和5年度の活動センター事業について

令和5年度講座・イベントについては、第3次環境基本計画に合わせて内容を考え直すことが必要。これに合わせて部会自体のことも見直すことが必要である。本日配布された概要版、市ホームページに計画の全文が出ているので、この新しい計画に目を通してもらい、新体制について委員の皆さんの意見を出してもらい、次回、検討していきたい。

- ・一般的には、新しい方針が出たので、それぞれの部署で対応するものであるが、それができていない。
- ・これまでの環境基本計画では、やりたいことがあっても手が出せない状況であった。活動センターの位置付けもはっきりしていないこと、本調整会も力がないので何もできないということである。結果、これまで議論のみで終始している。
- ・ホームページリニューアルの話を、まず決めて、部会についても話をしていきたい。
- ・ホームページを作りながら課題を詰めていき、それに合った部会を再検討するということか。
- ・ホームページで何を伝えるのか、活動センターが何をやっているのかわかるようにする。これからは、協働を目指すための活動がメインとなるので、このような方向で進めたい。

3. その他・・・なし

■次回開催予定日

令和5年度 第1回府中市環境保全活動センター検討調整会

(通算140回)

日 時：令和5年4月26日（水） 午前10時～

場 所：東庁舎7階事務スペースB